

平成29年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田区立内幸町ホール	所在地	千代田区内幸町1-5-1
-----	-------------	-----	--------------

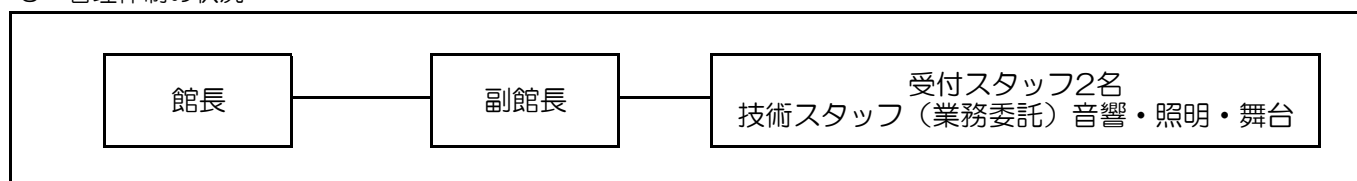
1 指定管理者の概要

名称	株式会社コンベンションリンケージ	代表者	平位博昭
所在地	東京都千代田区三番町2 三番町KSビル		
指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日	報告期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日

2 管理施設の概要

施設の目的	千代田区の文化芸術の振興を図り、区民（区に住み、働き、学び、集う全ての人々をいう。以下同じ）が演劇・音楽等の文化芸術活動を実践できる場の提供、文化芸術活動を行う団体等の育成及び区民が文化芸術を教授することができる機会の提供を図ること、その他区民の利用に供する事を目的とする。
管理業務の内容	(1) ホール施設及び付帯設備（以下「ホール等」という）の利用承認等に関する事 (2) 演劇・音楽等の公演その他の催し物に関する事 (3) 区民の自主的な文化芸術活動意識の醸成に関する事 (4) 文化芸術活動を行う区内の団体等の支援及び育成に関する事 (5) ホール等の保守点検および施設設備の維持管理に関する事 (6) その他ホールの目的を達成するために必要な事業

3 管理体制の状況



4 事業実績等

ア ホール利用実績

	年間日数	休館日数・メンテナンス日数	日単位の利用実績			利用区分別の利用実績		
			利用可能日数	実利用日数	利用率	利用可能区分数	実利用区分数	利用率
29年度	365	18	347	334	96.25%	1,005	884	87.96%
28年度	365	20	345	328	95.07%	998	840	84.16%
27年度	366	11	355	334	94.08%	1,026	843	82.16%

イ 利用目的別件数

	演劇	音楽	舞踊	落語	朗読	その他	合計
29年度	29	198	19	89	40	62	437
28年度	36	170	9	99	33	62	409
27年度	30	190	8	96	26	56	406

ウ ホール主催事業

計10演目開催（朗読1回、落語2回、演芸1回、シャンソン1回、音楽4回、オペレッタ1回）

エ ホール共催事業

内幸町ホール文化祭（7日間：10団体+ワークショップ発表会+ゲスト）

オ 施設等の維持管理業務

- ・建物、設備保守管理（害虫駆除を含む）
- ・施設清掃業務
- ・警備業務
- ・ピアノ、音響、照明、舞台保守点検
- ・防火防災管理点検
- ・防火対象物点検
- ・消防設備点検
- ・避難訓練
- ・水防訓練

5 収支の状況

収 入		支 出	
指定管理料	27,330,000円	人件費	16,296,478円
利用料金	47,964,950円	光熱水費	14,479,064円
主催事業	1,527,837円	事業費	5,162,864円
その他	7,921,272円	施設運営維持管理費	43,940,661円
合計 (①)	84,744,059円	合計 (②)	79,879,067円
収支差額 (①-②)	4,864,992円		

【参考】平成28年度指定管理料 26,220,000円

6 指定管理者による自己評価

	サービス提供に関して	収支に関して
29年度	<p>ホール管理運営において、弊社の運営方針に基づき、安全安心・ホスピタリティ・倫理・コストパフォーマンスを心がけた運営を実践してまいりました。</p> <p>具体的には、【否定から入らない】接遇、利用者の相談には利用する方の視点から費用対効果の最も高い案を提示する事で利用者の信頼を得る事だできりピート利用者を増やす事を実現してまいりました。</p> <p>全員参加の利用抽選により公平公正な利用申込を徹底して実践しております。</p> <p>指定管理者のサービスである「ホールに頼めばなんでもできる」をコンセプトにしたワンストップサービスも好評をいただいております。弁当手配、音響照明技術者サービスが利用者から大変喜ばれており、高い評価をいただいているものと考えております。</p> <p>施設設備の老朽化に伴う修繕においては指定管理者が実施する範疇のものは保守点検時の指摘事項を元に予算上限まで実施しハード面での事故が起こらないよう管理し、安心してご利用いただける状況を維持してまいりました。</p> <p>開館20周年記念文化祭では姉妹協定を結んでいる秋田県五城目町より五城目番楽保存会を招聘し都市交流にも貢献しました。</p>	<p>収入面では、高い利用率（稼働率）に現れている通り貸館事業においての高いリピート率と利用者の公演を観に来た来場者が新規利用者となる相乗効果により、利用件数の増加、ワンストップサービスの利用件数増加と主催事業の売上増となっている。</p> <p>支出面では弊社のスケールメリットを活かした増員技術の内部スタッフ手配などによる軽費削減による節減により、良好な収支にて運営できていると自己評価している。</p>

7 区としての評価・今後の方向性

29年度	<p>稼働率が高く、幅広く利用されているなかで、シャンソンコンクールの開催、区民児童無料招待事業や区内大使館と連携した国際交流事業の実施など高いレベルの事業が開催されており、区の文化振興に寄与している。また、ワンストップサービスの継続、職員のホスピタリティ意識の高さ、収支改善の取組の成果により、黒字を継続していることは、高く評価する。今後も引き続き指定管理者のノウハウを生かし、文化芸術の情報発信と文化交流の普及に取り組んでいただきたい。</p>
------	--